

科目名		構造力学Ⅰ			
担当教員		羽下 準嗣		実務授業の有無	
対象学科	建築大工科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	32
授業概要、目的、 授業の進め方	前期で学習した力学の基礎を基に、応力・トラスの解法を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	部材に生じる力(応力)からトラスの基礎的解法までを学習する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書(やさしい構造力学)、配布プリント				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	部材に生じる力(基礎編)			これまで学習した外力・反力が部材にかかることによって部材の内部に発生する力(応力)の変化について学習。	
2	部材に生じる力(実践編)			基礎編で学習した、部材に生じる力(応力)及び応力図をより実戦的な解法で解く方法を学習。	
3	トラスの考え方			トラスの考え方を学習。	
4	トラス 接点法			トラスの接点法による解法を学習。	
5	トラス 図解法			トラスの図解法による解法を学習。	
6	トラス 切断法			トラスの切断法による解法を学習。	
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
平常点 10 %	小テスト 40 %	期末テスト 50 %		前期の力の基礎から反力、後期の応力、さらに2年次へと授業内容は関連しています。1年時の基本がとても重要になります。 仕組みさえ理解してしまえば計算自体はとても簡単です。建築士試験でも出題される分野ですので頑張しましょう。	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建築設計事務所にて意匠設計に従事。			